他者からの問いかけに
「大丈夫でぇす」
って答えてませんか？

進路通信　題字:山口那々実

業学一体

for all(123)

”自分なり”で終わらないために..

（何のための、誰に対する答えか？）

面接の質問、プレゼンの発言、筆記(論文)の回答において、
質問者や問題作成者の意図を考えて、答えを導き出そうとしてますか？

例えば面接で..「三年間で一番思い出に残ったことは？」

⇒この生徒は**「どんな考え方をするのか？」「起きた事柄に対し何を感じるのか？」**
＝＝（ｲｺｰﾙ）調査書、推薦書などの**事前に〝得た情報〟の真意**を確かめたい。
≠（ﾉｯﾄ）個人の「思い出」自体は受験に全然関係ない(知る必要ない)

例えば..”ｷｬﾌﾟﾃﾝ”や”皆　勤”の事実(＋)
例えば..”帰宅部”や”欠席多”の事実(－)
⇔望まれたのか？仕方なくか？たまたまか？努力したか？

例えば筆記(論文)で..「～に対し、作者の考えを答えなさい。」

⇒今の時期に**「なぜこの例文が出題されたのか？」「なぜこの作者の作品を選んだのか？」**
＝＝（ｲｺｰﾙ）**「現実の問題」と関連する知識や思考力**を有しているか？
≠（ﾉｯﾄ）作者の考えは出題者ならとっくに解ってる(知りたいのはそこじゃない)

例えば..国語的に”思いやり”や”倫理観”を述べた出題 ⇔ 地震における日本人の考え方 etc..
例えば..理科的に”化学反応”や”半減期”を求める問題 ⇔ レジ袋有料化の閣議 etc..
例えば..歴史的に”公家諸法度”や”大政奉還”を問う問題 ⇔ 女系天皇の在り方 etc..
例えば..英語的に”スポーツ”や”お国柄”を題材にした長文 ⇔ オリンピックの影響 etc..

⇓　⇓

！しっかり「現実的な事柄」を理解した上での考えと、ただの「教科書的な知識」だけでは当然回答が変わってくる！

〝自分善がりの考え〟から一歩離れ、**〝作成者、質問者の意図〟**を考えると、
異なる答え、隠れている答え、除くべき答えが見えてくる。

⇒**「求められている力は何か？」「何を答えるべきか？」「この答えでいいのか？」**
＝＝（ｲｺｰﾙ）社会の中で**〝自分以外〟(対家族、対お客、対組織、対時代)に順応できる対応力**
≠（ﾉｯﾄ）社会の中で**〝他の立場〟(対家族、対お客、対組織、対時代)か見えない**無力

公的な問題や質問は”それぞれの立場”から考えられたものである。
そこには必ず「相手に確認したいこと」が存在する。

⇒出題者の立場を考えず、**「ＡＩ」に機械的な答え**を求めても正答にたどりつけない
⇒発問者の意図を考えず、**「自分なり」の独善的な答え**を主張しても評価に値しない